

令和5年 第1回掛川市・袋井市病院企業団議会定例会 報告

開催日時 令和5年2月8日 PM 2:00～

開催場所 中東遠総合医療センター3F会議室

出席者 大場正、山田貴、安間亨、大庭(記)

1. 全員協議会 PM2:00～

・宮地企業長挨拶

要旨> 今年5月で開院して10年になる。近況報告として、当院は磐田病院に次いで地域がん診療連携拠点病院に指定された。圏域内で2病院が承認を受けることは珍しく、この指定には大学病院でも10年かかる。私が院長に就任して5年になるが、今回指定されたことは、これまで職員一同、一丸となってやってきたその成果を国が認めてくれたと認識している。

また、当院では研修医が毎年14名ずつ増えている。しかも、当院の研修医は大変優秀で全国約1000以上ある研修医を預かる事が出来る病院のうち、642病院が参加した能力試験で病院ごとに出る平均点が全国で15位の成績となっている。

現在、厳しいコロナ診療の中にあるが全職員で乗り切っている。今後当院は、がん診療と共に、緩和ケア、在宅ケアにも関わっていききたい。さらに、がん治療に併せて予防治療の充実させていくということでドック検診も充実させていく。PET検査も金額を下げて行っているが好評である。また、胃がん対策としてピロリ菌の検査についても取り組んでいきたい。これから導入する敷地内薬局についても、先進的なやり方で薬剤師不足を解消していききたい。私は全国自治体病院学会の理事となった。これから当院が全国初の統合病院として、さらにここの良さを全国に発信していききたい。今後も議会、両市のご支援をいただきながらやっていきたい。宜しくお願ひしたい。

・報告事項

(1) 令和4年度の運営状況について

ア 職員数の推移 (資料1)

イ 診療実績 (資料2)(資料3) ウ 研修医のフルマッチについて

エ 敷地内保険調剤薬局の整備に係る進捗(令和5.5.1開局)

オ ドクターカー導入後の状況 (資料4)

カ 患者満足度調査結果の概要 キ 職員意識調査結果の概要

(2) 将来に向けた病院整備計画の検討状況について (資料5)

(3) 公立病院経営強化プラン(案)について

(4) 企業団議会の定例会について

ア 令和4年度病院事業会計補正予算(第2号)の概要 (資料6)

イ 令和5年度病院事業会計予算の概要 (資料7)

ウ 個人情報保護に関する法律改正に伴う関係条例の制定について

エ 職員定数条例の一部改正の概要

- オ 職員の定年引き上げについて
- カ 専決処分の承認を求めることについて
(企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部改正)
- キ 議会の個人情報保護に関する条例の制定の概要

・全員協議会における主な質疑(要旨) < 全員協議会での各議員からの意見・質問 >

◆ (1) 令和4年度の運営状況について・・・・・・・・・・資料 1 2 3 4 参照

Q ドクターカーの導入におけるメリット、デメリットは。

A 当初想定した40～60件が93件と順調にいつている。掛川、袋井両消防署からの連絡に対し、遠い現場に行くにあたりドッキングポイントを設け、そこからドクターが救急車に乗るといいう手法で短時間に対応出来るようにやっている。今後現場からデジタルデータを送る手法など検討していきたい。

Q 昨今の値上げが病院の食事など、どのような影響が出ているか。

A 厳しい環境下だが美味しい食事が提供されている。また、食材も地産地消に努力している。食事は治療の一環との認識で美味しい給食の提供に引き続き頑張っていきたい。

Q 薬剤師の状況が厳しいとのことだが、採用は新卒者か、経験者の採用か、薬剤師の確保策は。

A 経験者も採用している。薬剤師の75%が調剤薬局に行く状況。25%が病院。大学にもお願いしている。今後調剤薬局と協力しながらやっていきたい。

Q 職員意識調査で給与、ハラスメントなど50点以下のところが気になるが対策は。

A 人事評価をしっかりと調査結果を反映するように面談等をしっかりとしていきたい。

Q 研修医の男女の比率はどのようになっているか。

A 研修医の受審比率は女性が30%程度。今年度の女性の研修医は25%程度。外科などには半分位になっている。

Q コロナの2類から5類になった場合の病院の対応はどのように変わるか。

A 5類になって病院はかえって負担になる。多くの患者が来ると予想される。面会者は現状維持か、もし認めても制限をすることになるのではないか。病院における5類の導入は段階的にやらないと難しい。コロナの院内感染対策はひき続き極めて重要との認識でいる。

◆ (2) 将来に向けた病院整備基本方針の策定について・・・・・・・・・・資料 5 参照

Q 救急医療、人間ドック、放射線治療の事業費50～60億円が予定されているが資金計画はどうなっているか。

A 基本的には企業債で対応する。アドバイザーの伊関先生からも将来に向けての投資をすべき、企業債を借りれば交付税措置もあるとのアドバイスもある。建物は30年、医療機器は5年の返済を考えている。救急施設や人間ドックの整備で収益性も上がると考えて

いる。

◆ (3) 公立病院経営強化プラン (案) について・・・・・・・・・・資料 無

Q 経営形態の見直しで企業団議会方式を継続とあるが、今後の考えは。

A 今の企業団方式の仕組みは人事に関して迅速に対応出来るところは良いところと認識している。職員も公務員の身分を望む人もいる。現状で良いのではないか。

Q 今日、初めて地域のがん拠点病院となった旨の報告を受けた。是非、この病院経営強化プランへの記載をして、しっかりと事業を進めるべきでは。

A 国の承認を受けたので、地域のがん拠点病院指定を記載していきたい。

Q 救急医療、人間ドック、放射線治療の事業費50～60億円が予定されている。また、スポーツ医療センターも予定されているようだが、プランの中の財政計画に盛り込んでいるのか。

A 計画は令和10年までだが、新棟は令和6、7、8年までに出来る。毎年2億円くらいの額を財政計画の減価償却費の中に入れてある。また病院の建物の償却期間は39年となっている。収支計画は病床利用率85%、診療単価78,000円が確保出来れば収支均衡でいけると思う。菊川、御前崎が救急を続けられるか難しい。その為にも地域における救急対応出来る新棟を造る。スポーツ医療センターも段階的にやっていきたい。

Q 2023年ポケットカルテ導入との事だったが、進捗はどのようになっているか。

A 病院のDXとして進めたい。ポケットカルテはマイナンバーカードに関連し、医療に結びつけて進める事業としているが、当院もそれに併せて考えていきたい。アプリを活用してデジタルで遠隔診療も出来る可能性もある。2年後を目指してモデルケースとしてやっていきたい。

<全員協議会の中での予算に関する質疑>

◆ (4) ア 令和4年度病院事業補正予算 (第2号) の概要

イ 令和5年病院事業会計予算の概要・・・

資料6 7 参照

Q 債務負担行為来年度は随意契約で5年間結ぶのか。

A 当初、当該整備工事は令和4年から9年までだったが、事情で令和5年から10年となった。来年は1年のみ随意契約だが、来年改めてプロポーザルでその先5年間を契約する。

Q 職員定数、850人から950人に増員するようだがその中身は。

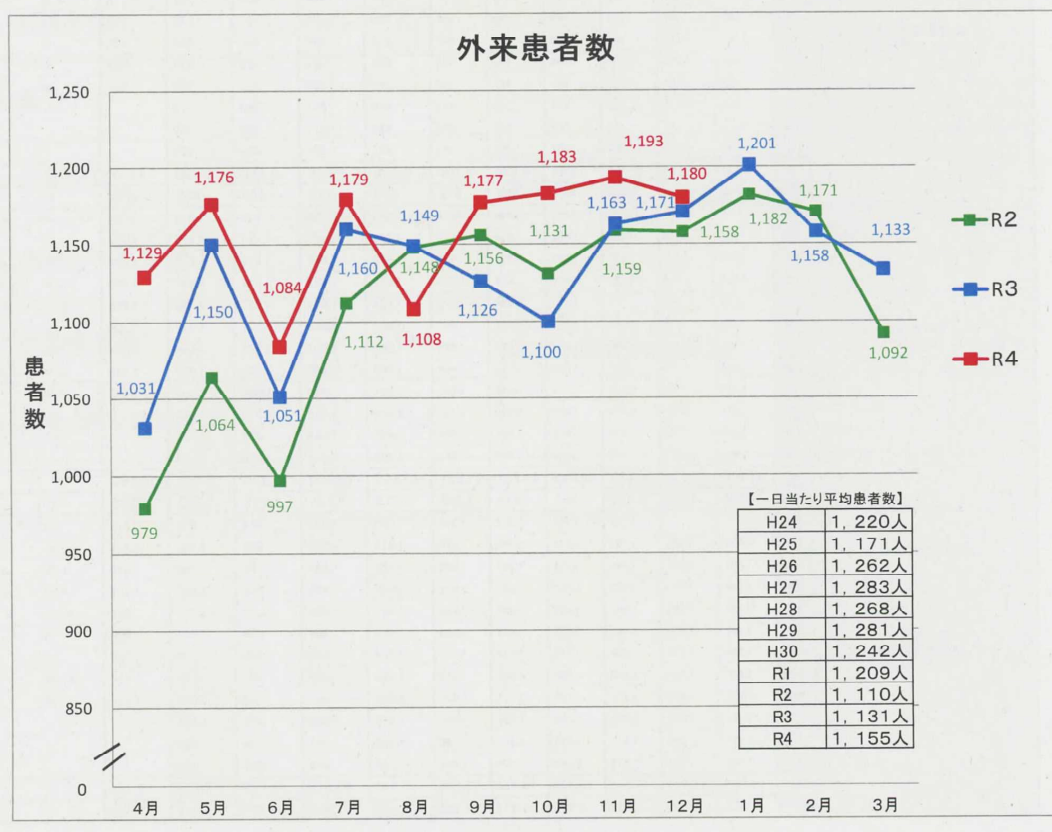
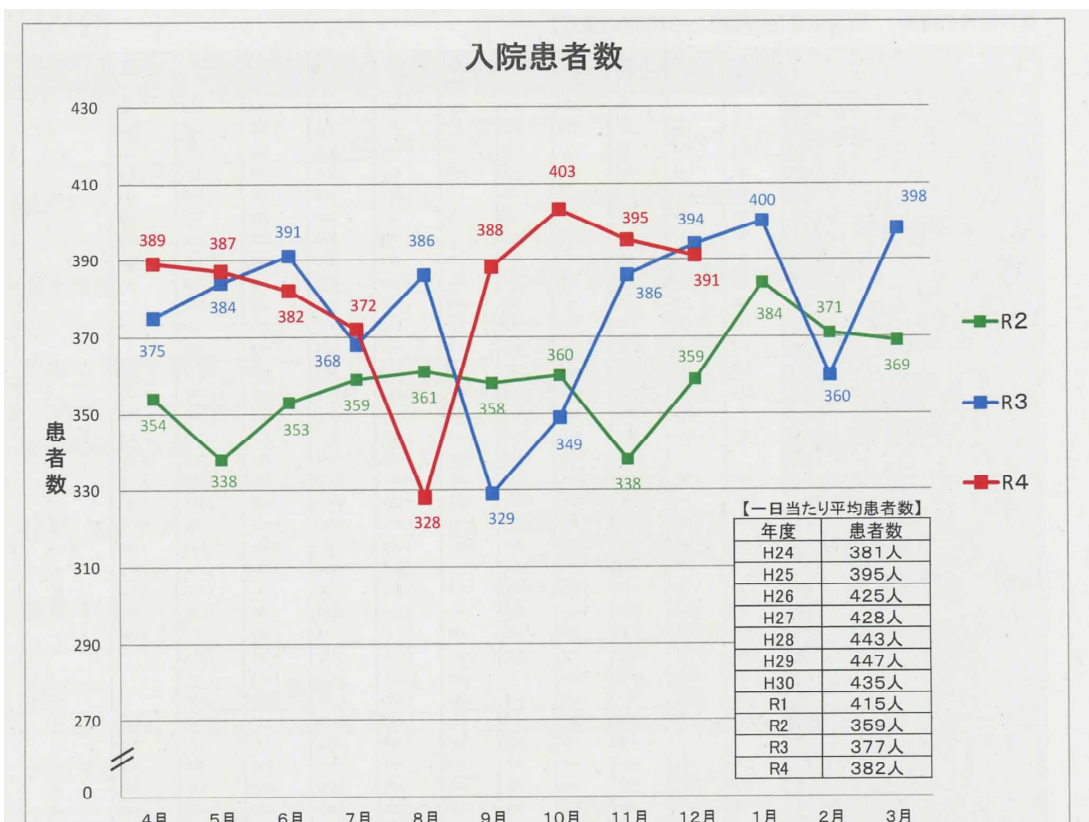
A この増員計画は今後10年間のなかで考えている。内容は、病院整備計画に基づく事業拡大に30人程度、診療体制の強化に30人程度、働き方改革、育児支援拡充、定年延長に40人程度の全体で100人を予定している。職種毎の人員は明確に決めていない。

職 員 数 の 推 移

R5年1月1日現在

大分類	職種	H30.4.1				H31.4.1				R2.4.1				R3.4.1				R4.4.1				R5.1.1			
		正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計
医師	総合内科	2			2	2			2	2			2	2			2	2	3		3	3	3		3
	糖尿病・内分泌内科	2			2	2			2	2			2	2			2	2	2		2	2	2		2
	腎臓内科	4			4	5			5	6			6	4			4	4	4		4	4	4		4
	血液・腫瘍内科	1			1				0	1			1	1			1				0				0
	脳神経内科	2			2	2			2	2			2	2			2	2	2		2	2	2		2
	呼吸器内科	4			4	5			5	5			5	5			5	5	5		5	5	5		5
	消化器内科	4			4	5			5	4			4	4	1		5	3	1		4	4	1		5
	循環器内科	10			10	9			9	9			9	7			7	7	7		7	7	7		7
	外科	8			8	9			9	9			9	10			10	10	10		10	10	10		10
	消化器外科	(6)			(6)	(6)			(6)	(6)			(6)	(3)			(3)	(4)			(4)	(4)			(4)
	呼吸器外科	(1)			(1)	(1)			(1)																
	血管外科	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			(1)
	乳腺外科	(2)			(2)	(2)			(2)	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			(1)	(1)			(1)
	人工透析外科	1			1				0				0				0				0				0
	整形外科	10			10	7			7	7			7	8			8	9			9	9	9		9
	脳神経外科	5			5	5			5	4			4	5			5	4			4	5	5		5
	小児科	9			9	7			7	7			7	7			7	8			8	8	8		8
	産婦人科	5			5	6			6	6			6	6			6	5			5	5	5		5
	泌尿器科	3			3	3			3	4			4	4			4	4			4	4	4		4
	皮膚科・皮膚腫瘍科	3			3	3			3	3			3	4			4	4			4	4	4		4
	眼科	3			3	4			4	4			4	6			6	5			5	4	4		4
	耳鼻いんこう科	4			4	3			3	3			3	3			3	3			3	4	4		4
	放射線診断科	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1	1		1
	腫瘍放射線科	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1	1		1
	麻酔科	7	1		8	6	2		8	7	1		8	6	1		7	7	1		8	7	1		8
	リハビリテーション科				0				0				0	1			1	1			1	1	1		1
	歯科口腔外科	3			3	3			3	3	1		4	4			4	4			4	4	4		4
	病理診断科	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1	1		1
	臨床検査科	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1	1		1
	救急科	1			1	3			3	3			3	4			4	5			5	5	5		5
	IVR・画像診断センター	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2	2		2
	臨床研修センター	2			2	2			2	6			6	3			3	6			6	7	7		7
人間ドック健診センター			3	3			3	3			2	2			2	2	1		2	3	1		2	3	
2年目研修医			8	8			12	12			14	14			15	15			14	14			14	14	
1年目研修医			9	9			16	16			15	15			14	14			15	15			15	15	
1年目研修歯科医			1	1			1	1				0				0			1	1			1	1	
医師 集計	99	0	22	121	97	0	34	131	103	0	33	136	104	0	33	137	108	0	34	142	111	0	34	145	
医療技術員	薬剤師	25	1		26	28	1		29	29	1		30	29	1		30	29	1		30	28	1		29
	診療放射線技師	31	1		32	32	1		33	30	2		32	29	3		32	30	2		32	30	2		32
	臨床検査技師	36	10		46	37	10		47	38	9		47	38	10		48	39	9		48	38	9		47
	理学療法士	18	1		19	22	1		23	23	1		24	25			25	29			29	29			29
	作業療法士	7			7	9			9	10			10	9			9	10	1		11	10	1		11
	言語聴覚士	6			6	6			6	6			6	6			6	6			6	6			6
	管理栄養士	8	1		9	10	1		11	9	1		10	10	1		11	10	1		11	10	1		11
	臨床工学技士	19	1		20	19			19	20			20	21			21	23			23	22			22
	視能訓練士	4	1		5	4			4	4			4	4			4	4			4	4			4
	歯科衛生士	3	2		5	3	2		5	5	1		6	6			6	6	1		7	6	1		7
医療技術員 集計	157	0	18	175	170	0	16	186	174	0	15	189	177	0	15	192	186	0	15	201	183	0	15	198	
看護師	看護師	511	50		561	515	54		569	511	48		559	514	49		563	520	46		566	522	51		573
	准看護師	1	9		10	1	9		10	1	7		8	1	7		8	1	6		7	1	6		7
	助産師	26	5		31	29	5		34	29	3		32	26	6		32	24	6		30	24	6		30
看護師 集計	538	0	64	602	545	0	68	613	541	0	58	599	541	0	62	603	545	0	58	603	547	0	63	610	
一般行政職	医局秘書			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2
	技術職員	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2
	事務職員	46	17		63	61	16		77	62	14		76	73	12		85	77	12		89	80	12		92
一般行政職 集計	48	17	56	121	49	16	63	128	51	14	64	129	52	12	75	139	54	12	79	145	53	12	82	147	
技能労務職	医療事務員	14			14	15			15	15			15	16			16	17			17	17			17
	メディカルエイド	13	69		82	12	71		83	11	74		85	10	62		72	9	66		75	9	74		83
	作業補助員			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2
技能労務職 集計	27	0	71	98	27	0	73	100	26	0	76	102	26	0	64	90	26	0	68	94	26	0	76	102	
総計	869	17	231	1,117	888	16	254	1,158	895	14	246	1,155	900	12	249	1,161	919	12	254	1,185	920	12	270	1,202	

() は再掲



地域連携の状況

令和5年2月8日
全員協議会資料
地域医療支援センター

1 市別の患者動向(R4年11月末現在)

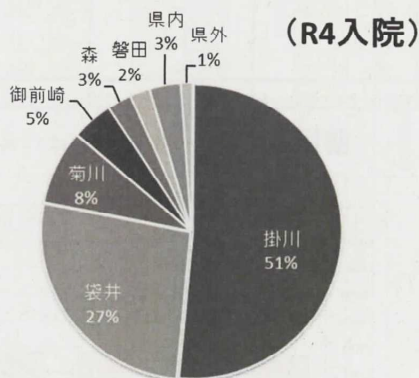
入院・外来患者数の推移



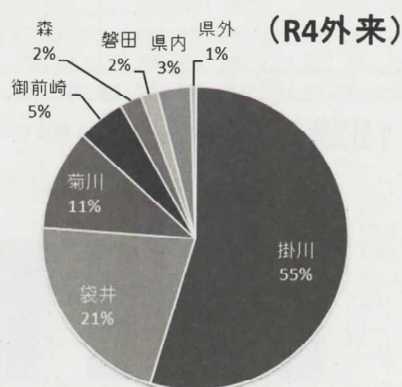
2 患者地域別構成比の比較

		R元年		R2年		R3年		R4年	
		患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)
入院	掛川市	82,622	54.4	72,283	55.2	71,700	52.1	47,704	51.4
	袋井市	36,450	24.0	30,899	23.6	34,756	25.3	24,702	26.6
	菊川市	12,761	8.4	11,264	8.6	12,367	9.0	7,524	8.1
	御前崎市	7,927	5.2	6,434	4.9	7,009	5.1	4,143	4.5
	その他	12,204	8.0	10,036	7.7	11,718	8.5	8,741	9.4
	計	151,964	100.0	130,916	100.0	137,550	100.0	92,814	100.0

		R元年		R2年		R3年		R4年	
		患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)
外来	掛川市	164,089	56.5	152,735	56.6	151,067	55.2	102,649	54.7
	袋井市	61,938	21.3	56,863	21.1	59,126	21.6	40,141	21.4
	菊川市	27,770	9.6	26,748	9.9	28,532	10.4	19,974	10.6
	御前崎市	13,968	4.8	12,553	4.7	13,168	4.8	9,518	5.1
	その他	22,402	7.7	20,888	7.7	21,757	8.0	15,488	8.2
	計	290,167	100.0	269,787	100.0	273,650	100.0	187,770	100.0



R4.4月～11月 n=92.8千人



R4.4月～11月 n=187.8千人

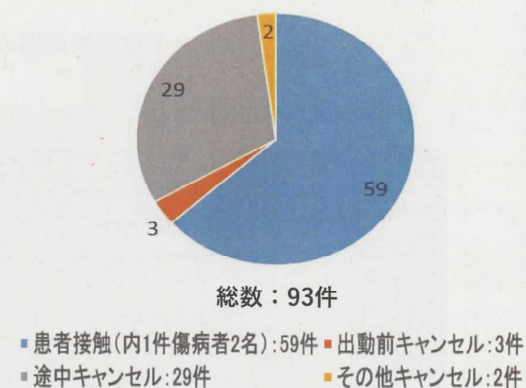
令和 5 年 2 月 8 日
 全 員 協 議 会 資 料
 経 営 戦 略 室

ドクターカー導入後の状況について

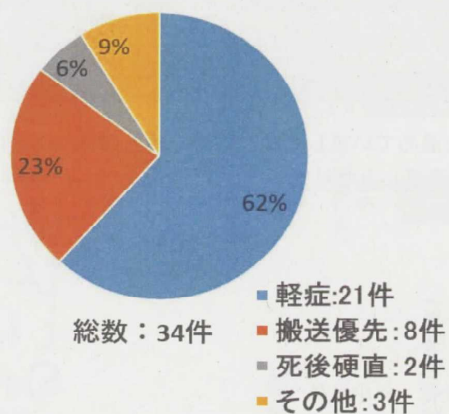
① 運行について

運行開始 10月24日から12月28日まで 出動日：平日日勤帯
<ul style="list-style-type: none"> 出動総数 93件 (1日平均2件) 要請から出動までの時間 平均2.7分 キャンセル率：36%

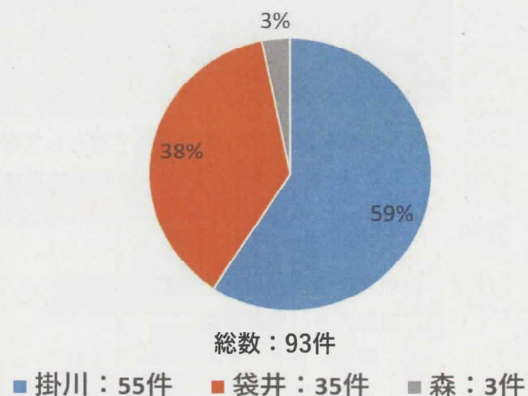
② ドクターカー出動件数と内訳



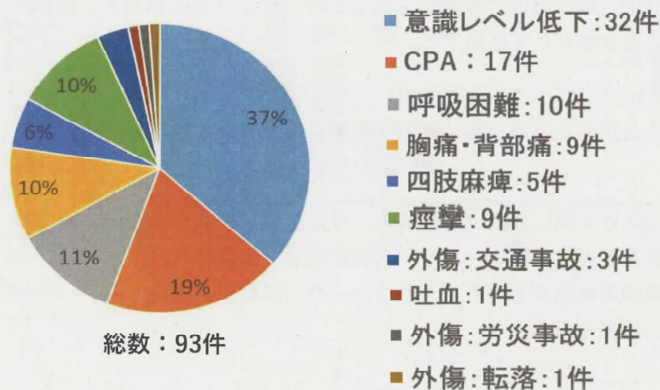
③ キャンセル症例の内訳



④ 出動地域



⑤ 要請キーワード



令和5年2月8日
全員協議会資料
経営戦略室

病院整備基本計画の策定について

1 目的

当院は開院から約10年が経過し、病院の医療機能は開院当初の想定以上に向上しており、地域内の医療環境も大幅な変化を見せつつある。令和4年3月29日付け総務省通知で示された公立病院経営強化ガイドラインにおいては、持続可能な地域医療体制を確保するため、各公立病院に対して、病院の役割・機能の明確化と圏域内での機能分化・連携強化を強く求めている。当院でも、将来に向けて地域の医療ニーズを踏まえた病院のあり方を検討し、将来にわたり安定した地域医療体制を確保していくために必要な病院整備基本計画を策定する。

2 施設整備の考え方

① 救急医療体制の整備

- ・将来的な救急患者の受入拡大への対応や、新型コロナウイルス感染症等の新興感染症に確実に対応できる環境を院内に整備する。
- ・1階の救急外来は、現施設を改修、拡張し、必要な機能を確保する。
- ・2階は、現在の人間ドック・健診センター及び血液浄化センターの一部を改修し、ECU（救命救急センター病棟）として20床程度を整備する。（透析の減床については要検討）
- ・3階は、現在のICU及びECUを改修し、ICUとして8床程度を整備する。（特定集中治療室管理料1の施設基準を満たす面積を確保する。）

② 人間ドック・健診センターの整備

- ・これからの超高齢化社会に向けて、予防医療により、多くの方の病気の早期発見・早期治療につなげるため、1日100人程度の受診者を受け入れることができる施設を整備する。
- ・救急部門の整備にあたり現在の人間ドック・健診センターのエリアを使用するため、人間ドック・健診センターは院外に新棟として整備する。

③ 放射線治療機器の整備

- ・将来的ながん罹患者数の増加及び放射線治療の需要拡大を見据えて、必要な放射線治療機器を新棟1階に整備する。
- ・現在使用している放射線治療機器が更新の時期を迎えるため、新たな放射線治療機器を設置するとともに、放射線治療機器2台体制とすることも検討する。

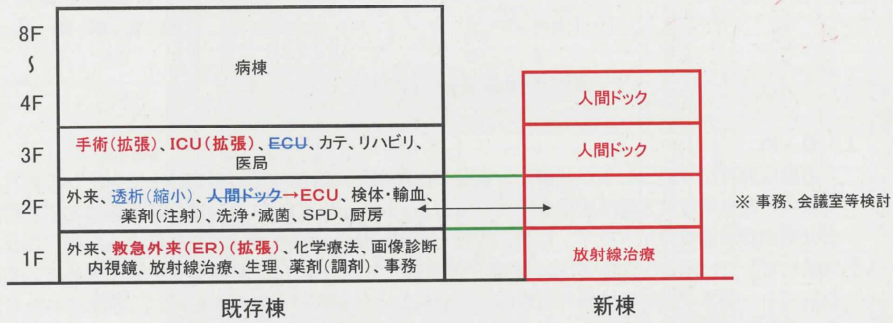
④ 事務部門その他の機能の整備

- ・執務スペースの確保が必要な管理課をはじめとする事務部門を、新棟2階に整備する。
- ・将来の手術件数の増加や心臓血管外科の開設を見据えた手術室の改修、増室を検討する。
- ・その他、院内に不足している機能（シミュレーションセンター、リハビリ部門、患者及び職員のためのアメニティ施設等）の整備を検討する。

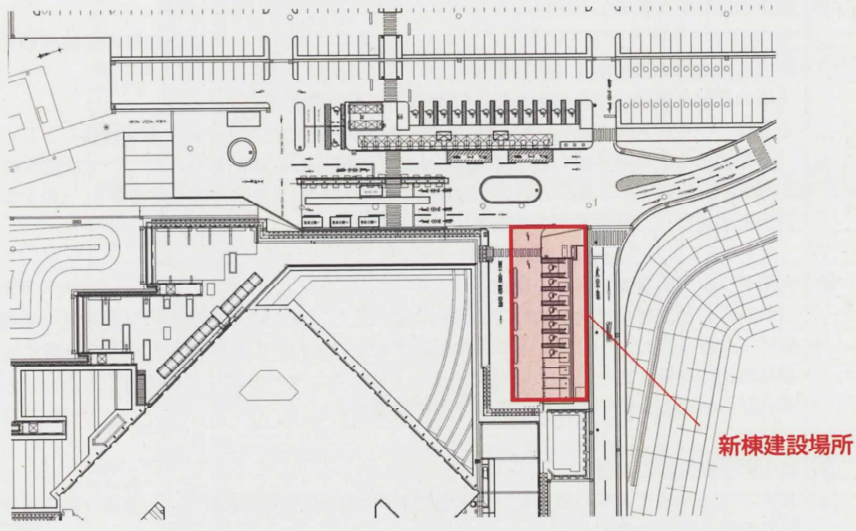
⑤ 建築基準法不適格箇所の解消

- ・今回の病院整備計画に伴う施設改修に併せて、現時点で建築基準法の不適格となっている箇所を改修する。（改修箇所：外来ホスピタルモール天井、エレベーター、エスカレーター）

3 階層イメージ



4 配置図イメージ

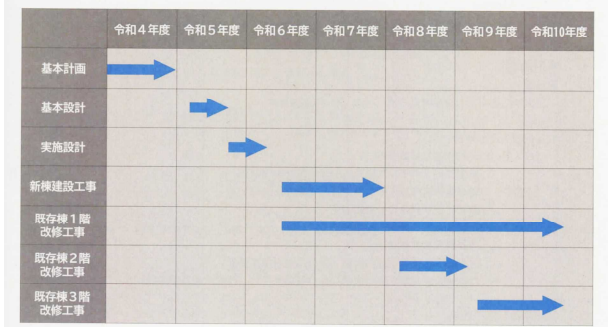


事業費 (参考・大概算)

区分	規模
新棟建築	3,500 m ²
既存施設改修・増築	1階1,500 m ² 、2階1,500 m ² 、3階1,100 m ²
建築基準法対応	エレベーター、エスカレーター、外来天井
電気工事	一式
医療機器、什器、備品、情報システム	救急、人間ドック・健診センター、放射線治療 等
合計 50億円 ~ 60億円	

※ 今後の検討状況により、金額は大きく変わる可能性がある。

7 病院整備スケジュール



令和4年度病院事業会計補正予算（第2号）の概要

1 補正内容

業務量

○実績に基づく入院患者数の減 「2（1）業務量参照」

収益的収入及び支出

- 【収入】 入院収益の減額補正
新型コロナウイルス感染症関連の補助金の補正
- 【支出】 給与費の増額補正（コロナ対応により手当増）
実績により材料費を増額補正
電気料、都市ガス料を増額補正
委託料等を減額補正
火災による特別損失の計上（損失部分の残存簿価）
たな卸し資産購入限度額増に伴う雑損失の増（控除対象外消費税）

資本的収入及び支出

- 【収入】 補助金充当額増による企業債の減額補正
新型コロナウイルス感染症関連の補助金の増額補正
火災による保険金収入の計上
- 【支出】 年度内に執行しない工事等を減額補正
修学資金貸付対象者の減による投資の減額補正

債務負担行為の追加

R4～R5ターボ冷凍機RC-2分解整備工事
（令和5年度単年度工期では、新型コロナの影響等により遅延の可能性があるため）

債務負担行為の廃止

R4～R9医事業務委託料
（業務委託期間の延期により、令和5年度に再度追加）

企業債限度額の減額補正

補助金による医療機器整備により、起債額減少（2億5,000万円→2億3,550万円）

たな卸資産購入限度額

45億8,616万6,000円に改める（4,000万円増）

2 業務量

(1) 入院・外来

項目	既決予定額	補正後	増減
入院			
1日あたり患者数（人）	400	380	△ 20
診療日数（日）	365	365	0
延べ患者数（人）	146,000	138,700	△ 7,300
病床利用率	80.0%	76.0%	△4.0%
診療単価（円）	75,000	74,000	△ 1,000
入院収益（千円）	10,950,000	10,263,800	△ 686,200

3 予算実施計画

(1) 収益的収入及び支出

(税込、単位：千円)

款項目	既決予定額	今回補正額	計	主な補正内容
病院事業収益	19,387,319	142,751	19,530,070	
医業収益	17,154,288	△ 686,200	16,468,088	
入院収益	10,950,000	△ 686,200	10,263,800	延患者数の減 146,000人→138,700人(7,300人減) 診療単価の増 75,000円→74,000円(1,000円減)
医業外収益	2,233,030	828,951	3,061,981	
補助金	713,090	828,851	1,541,941	新型コロナウイルス感染症関連
保育園収益	13,840	100	13,940	保育所等物価高騰対策支援給付金
病院事業費用	19,081,481	432,073	19,513,554	
医業費用	18,284,279	413,777	18,698,056	
給与費	9,772,954	325,724	10,098,678	給料 86,628千円増 手当 255,442千円増 報酬 20,696千円増 法定福利費 37,042千円減
材料費	4,306,063	30,000	4,336,063	薬品費 10,000千円減 診療材料費 40,000千円増
経費	2,830,033	63,009	2,893,042	主な補正項目 光熱水費 76,405千円増 燃料費 33,824千円増 委託料 48,294千円減
資産減耗費	16,393	4,544	20,937	たな卸資産減耗費
研究研修費	88,260	△ 9,500	78,760	旅費
医業外費用	774,297	3,500	777,797	
雑損失	392,624	3,500	396,124	たな卸し資産購入限度額減に伴う 貯蔵品控除対象外消費税の増
特別損失	17,905	14,796	32,701	
災害による損失	0	14,796	14,796	火災による損失部分の簿価を計上

(2) 資本的収入及び支出

(税込、単位：千円)

款項目	既決予定額	今回補正額	計	主な補正内容
資本的収入	1,096,441	179,687	1,276,128	
企業債	250,000	△ 14,500	235,500	補助金により借入額減少
補助金	154,437	54,895	209,332	新型コロナウイルス感染症関連
貸付資金返還金	9,642	15,432	25,074	返還金対象者の増
保険金	0	123,860	123,860	火災による保険金収入の計上
資本的支出	1,932,074	△ 34,843	1,897,231	
建設改良費	882,092	△ 31,273	850,819	年度内に執行しない工事等を減額
投資	4,320	△ 3,570	750	貸付対象者の減

《参考》主要財源推移

資本的収入	当初	1号補正後	2号補正後
企業債	250,000	250,000	235,500
補助金	1	154,437	209,332
参考合計	250,001	404,437	444,832

令和5年度病院事業会計予算の概要

1 業務量

■入院・外来

項目	令和4年度当初	令和5年度当初	前年比
入院			
1日あたり患者数(人)	400.0	410.0	10.0
診療日数(日)	365	366	1
延べ患者数(人)	146,000	150,060	4,060
病床利用率	80.0%	82.0%	2.0%
診療単価(円)	75,000	75,000	0
入院収益(千円)	10,950,000	11,254,500	304,500
外来			
1日あたり患者数(人)	1,150.0	1,150.0	0.0
診療日数(日)	243	243	0
延べ患者数(人)	279,450	279,450	0
診療単価(円)	18,000	18,000	0
外来収益(千円)	5,030,100	5,030,100	0

2 当初予算案

(1) 収益の収入及び支出

(税込、単位：千円)

款項目	令和4年度当初	令和5年度当初	増減	増減率
病院事業収益	18,701,944	19,157,391	455,447	2.4%
医業収益	17,154,288	17,462,072	307,784	1.8%
入院収益	10,950,000	11,254,500	304,500	2.8%
外来収益	5,030,100	5,030,100	0	0.0%
その他医業収益	884,252	846,513	△37,739	△4.3%
他会計負担金	289,936	330,959	41,023	14.1%
医業外収益	1,547,655	1,695,318	147,663	9.5%
内 負担金交付金	753,814	769,794	15,980	2.1%
内 長期前受金戻入	394,841	467,478	72,637	18.4%
内 資本費繰入収益	298,212	222,210	△76,002	△25.5%
特別利益	1	1	0	0.0%
病院事業費用	18,966,663	19,379,011	412,348	2.2%
医業費用	18,169,461	18,536,622	367,161	2.0%
給与費	9,758,512	9,430,635	△327,877	△3.4%
材料費	4,306,063	4,533,542	227,479	5.3%
経費	2,729,657	3,189,917	460,260	16.9%
減価償却費	1,270,576	1,267,104	△3,472	△0.3%
資産減耗費	16,393	28,437	12,044	73.5%
研究研修費	88,260	86,987	△1,273	△1.4%
医業外費用	774,297	799,813	25,516	3.3%
特別損失	17,905	37,576	19,671	109.9%
予備費	5,000	5,000	0	0.0%

【参考：予算上(税込)の差額】

医業収支の差額	△1,015,173	△1,074,550	△59,377	△5.8%
事業収支の差額	△264,719	△221,620	43,099	16.3%

(2) 資本的収入及び支出

(税込、単位：千円)

款項目	令和4年度当初	令和5年度当初	増減	増減率
資本的収入	942,005	1,468,928	526,923	55.9%
企業債	250,000	835,300	585,300	234.1%
負担金	682,360	625,357	△57,003	△8.4%
貸付資金返還金	9,642	8,268	△1,374	△14.3%
補助金等	3	3	0	0.0%
資本的支出	1,577,416	2,050,105	472,689	30.0%
建設改良費	527,434	1,045,276	517,842	98.2%
企業債元金償還金	1,045,662	1,000,509	△45,153	△4.3%
投資	4,320	4,320	0	0.0%

3 建設改良

(税込、単位：千円)

項 目	令和5年度当初	主な内容	
施設改良費	176,168	病院整備事業(新棟整備及び既存棟改修設計業務)	135,300
		ターボ冷凍機RC-2分解整備ほか改修工事	40,868
医療機器等購入	869,108	医療機器等	631,243
		その他機器等購入費	237,865
計	1,045,276		

4 企業債借入状況

(単位：千円)

借入先	期首残高	借入高	償還高	年度末残高
財政融資資金	10,914,636	0	472,533	10,442,103
地方公共団体金融機構	2,986,781	835,300	509,696	3,312,385
銀行等引受	91,400	0	18,280	73,120
計	13,992,817	835,300	1,000,509	13,827,608

5 貸借対照表

(税込、単位：千円)

科 目	令和4年度期末見込	令和5年度期末見込	増減
資産の部	25,157,731	25,005,887	△151,844
固定資産	13,376,612	13,097,547	△279,065
有形固定資産	12,572,530	12,404,657	△167,873
無形固定資産	383,594	209,212	△174,382
投資	420,488	483,678	63,190
流動資産	11,781,119	11,908,340	127,221
現金預金	8,895,843	8,926,158	30,315
その他	2,885,276	2,982,182	96,906
負債の部	19,771,784	19,833,398	61,614
固定負債	15,612,565	15,542,029	△70,536
流動負債	2,980,371	3,201,789	221,418
繰延資産	1,178,848	1,089,580	△89,268
長期前受金	5,450,549	5,828,759	378,210
収益化累計額	△4,271,701	△4,739,179	△467,478
資本の部	5,385,947	5,172,489	△213,458
資本金	1,302,075	1,302,075	0
資本剰余金	146,304	171,243	24,939
利益剰余金(△は欠損金)	3,937,568	3,699,171	△238,397
資産及び負債資本合計	25,157,731	25,005,887	△151,844

○経営の状況

- ・入院、外来患者数については、引き続き、新型コロナウイルス感染症と通常診療の両立を行う前提での見込みとする。
- ・診療単価については、医療機能の向上により上昇すると見込む。
- ・物価高騰により、経費、材料費についても増加すると見込む。
- ・将来に向けた病院機能強化として、救急部門の改修・拡張や、放射線治療部門、人間ドック・健診部門等を含む新棟の整備を進める予定である。

2. 掛川市・袋井市病院企業団議会定例会

PM3 : 30 ~

議案>

- ・ 議案第1号 令和4年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算(第2号)について
資料(6)参照
.....全員賛成 可決承認
- ・ 議案第2号 令和5年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計予算について
資料(7)参照
.....全員賛成 可決承認
- ・ 議案第3号 掛川市・袋井市病院企業団個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
.....全員賛成 可決承認
(国のデジタル社会の形成を図るための法律改正の整備に関する法律により「個人情報保護に関する法律」が改正された。これまで自治体毎で条例を定めていたが全国的共通のルールになったために制定する)
- ・ 議案第4号 掛川市・袋井市病院企業団情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について
.....全員賛成 可決承認
(これまでの情報公開審査会と個人情報保護審査会を廃止し、情報公開・個人情報保護審査会と定めるために制定する)
- ・ 議案第5号 掛川市・袋井市病院企業団職員定数条例の一部改正について
.....全員賛成 可決承認
(850人を950人にする)
- ・ 議案第6号 掛川市・袋井市病院企業団職員の定年等に関する条例の一部改正について
.....全員賛成 可決承認
(定年が段階的に2年に1歳ずつ上がり令和14年には65歳になる)
- ・ 議案第7号 掛川市・袋井市病院企業団職員の定年引き上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
.....全員賛成 可決承認
(定年が段階的に2年に1歳ずつ上がり令和14年には65歳になる)
- ・ 議案第8号 専決処分の承認を求めることについて(掛川市・袋井市病院企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部改正)
.....全員賛成 可決承認
(人勧による)
- ・ 議案第1号 掛川市・袋井市病院企業団議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
.....全員賛成 可決承認

(本会議の中での質疑)

◆・議案第1号 令和4年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算(第2号)

Q コロナ対応の手当の支出はどうなっているか。

A コロナ対応した職員手当は1日3~4,000円を保証している。国からのお金を充てたい。

Q 火災における保険金の収入・支出はどうなっているか。

A 資本的収支の収入の中の保険金により123,860千円入る。また、支出は189,422千円の建設改良の中から支出している。火災による工事費はほとんど保険金によって賄われていると考えていただいて良い。

・議案第2号 令和5年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計予算について

Q 令和5年分のコロナの補助金はどこに入るか。

A 令和5年の補助金の見通しは立ってない為、計上してない。令和4年度の10月以降の補助金は1か月1億円程度と見込んでいるが、その額は決算で報告する。

Q 敷地内薬局に貸して入る収入126,500千円は確定している数字か。

A まだ確定していない。この額はプロポーザルの時の数字。今後、協議して額を決める。

Q 光熱水費398,200千円計上されている。光熱費が高騰している中、この対策に太陽光パネルを検討しているか。

A 企業団として独立会計のため、費用対効果を見て可能であれば検討する。

以上